

令和 5 年 度

事 業 報 告 書

自 令和 5 年 4 月 1 日
至 令和 6 年 3 月 3 1 日

公益財団法人石川県産業創出支援機構

目 次

第1．事業概要	1
第2．事業別実施状況	2
Ⅰ．新産業の創出支援	2
Ⅱ．新市場の開拓推進	6
Ⅲ．経営基盤の強化促進	8
Ⅳ．産業振興施設の管理運営	11
第3．庶務事項	13

第1. 事業概要

石川県産業創出支援機構（I S I C O）は、平成11年の設立以来、県内中小・ベンチャー企業の中核的支援機関として国や県のような産業支援施策を活用しながら、県内中小企業の経営の安定と発展を積極的に支援してきた。

令和5年度は、新型コロナウイルスの感染拡大と不安定な世界情勢により、大きな打撃を受けた本県地域経済の回復を確実に推し進めるため、厳しい経営環境にある事業者に対する様々な緊急的な支援を実施するとともに、地域経済の中心である企業活動をきめ細かくサポートした。

また、本年元日に発災した令和6年度能登半島地震については、能登地域をはじめとする事業者に甚大な被害が発生しており、国や県、商工会議所・商工会などの支援機関等と共に相談・支援にあたり、被災事業者の生業の再建に取り組んでいる。

更には、昨年度策定された県成長戦略に基づき、社会全体で取り組むDX・GX推進支援や、エネルギー価格の高騰への対応として、引き続き省エネ設備の導入を支援し中小企業の競争力強化を後押しした。また、地域経済における伝統産業や大学発スタートアップなど、マッチングや新産業創出への取り組みなどを支援した。

これらを中心に、企業が抱える様々な課題に対応していくため、以下の事業に取り組んだ。

1. 新産業の創出支援

- ・産学官金連携による技術研究開発の推進、国等の大型共同研究開発プロジェクトの実施
- ・地域の産業化資源を活用した新たなビジネスの創出
- ・創造的・意欲的中小企業の発掘、創業・新事業支援
- ・知的財産の保護・活用や外国出願支援 等

2. 新市場の開拓推進

- ・受発注取引情報の収集提供と取引斡旋
- ・販路開拓アドバイザー等による取引斡旋
- ・首都圏等での展示会、商談会による新市場開拓の推進 等

3. 経営基盤の強化促進

- ・情報誌「I S I C O」、ホームページによる産業情報の提供
- ・アドバイザーによる窓口相談、外部専門家派遣等を活用した経営力強化支援
- ・新型コロナ感染症および原油原材料の価格高騰の影響を受けた企業等への収益力強化支援
- ・助成金や設備の貸与による設備導入支援
- ・ものづくり企業を中心とした産業人材の育成支援 等

4. 産業振興施設の管理運営

- ・「地場産業振興センター」の管理運営
- ・「フロンティアラボ」「クリエイトラボ」の整備・運営
- ・「石川ハイテク交流センター」を拠点とするサイエンスパーク内の交流連携の促進と活性化支援 等

第2. 事業別実施状況

I. 新産業の創出支援

1. 産学官金連携技術研究開発事業

(1) 成長分野研究開発支援事業

D X推進、G X推進、スタートアップ創出支援など、複数年にわたる新たな研究開発を支援するとともに、産学官金の連携により、案件の掘り起こしから、採択後のフォローアップまでの一貫した支援を行った。

<研究開発支援>

○D X推進支援事業

令和5年度採択件数： 3件（採択額 90,000千円）

令和5年度助成件数： 3件（助成額 17,092千円）

○G X推進支援事業

令和5年度採択件数： 3件（採択額 77,324千円）

令和5年度助成件数： 2件（助成額 6,442千円）

○国プロジェクトステップアップ支援事業

令和5年度採択件数： 4件（採択額 20,000千円）

令和5年度助成件数： 4件（助成額 16,250千円）

○東京大学先端科学技術研究センター共同研究創出支援事業

令和5年度採択件数： 3件（採択額 13,236千円）

令和5年度助成件数： 5件（助成額 6,276千円）

○旧次世代産業創造ファンド助成事業（経過措置枠含む）

令和5年度採択件数： 2件（採択額 60,000千円）

令和5年度助成件数： 23件（助成額 152,103千円）

○スタートアップ創出支援事業

令和5年度採択件数： 8件（採択額 20,000千円）

令和5年度助成件数： 8件（助成額 11,934千円）

<連携推進>

○新事業創出支援コンソーシアム事業

いしかわ新事業創出支援コンソーシアム会議を開催し、産学官金連携による新事業の創出のため、県外スタートアップ・大学・企業等とのマッチング等を実施

セミナー参加者 35名

企業訪問 13件

マッチング 3件

(2) 経済産業省研究開発支援事業 (Go-Tech事業、旧サポイン事業)

中小企業等が、ものづくり基盤技術及びサービスの高度化に向けて、大学・公設試等と連携して行う研究開発等を支援した。

令和5年度採択件数	2件
過年度継続件数	4件

2. 産業化資源活用推進事業

(1) 新商品等開発・販路開拓支援事業

産業化資源を活用した中小企業等（小規模企業者を含む）による新商品・新サービスの市場調査から、開発、全国・海外市場での販路開拓に至るまでの取組を支援した。

○中小企業による全国・海外市場を狙った産業化資源活用商品等の開発・事業化支援事業

令和5年度採択件数：40件（採択額 116,764千円）

令和5年度助成件数：79件（助成額 58,497千円）

○小規模企業枠

令和5年度採択件数：8件（採択額 12,000千円）

令和5年度助成件数：25件（助成額 13,353千円）

○商品の魅力向上への取り組みに対する支援事業

令和5年度助成件数：3件（助成額 952千円）

○新商品開発のための事前調査事業

令和5年度採択件数：7件（採択額 4,454千円）

令和5年度助成件数：10件（助成額 3,287千円）

(2) ものづくり企業特別支援事業

本県経済をけん引する機械や繊維等のものづくり企業による新製品等の市場調査から、開発、全国・海外市場での販路開拓に至るまでの一貫した取組を支援した。

令和5年度助成件数：11件（助成額 31,036千円）

(3) 企業間・異業種連携支援事業

複数の企業や異業種連携、産学官連携等による新商品・新サービスの市場調査から、開発、販路開拓に至るまでの一貫した取り組みを支援するほか、海外バイヤーと連携して現地ニーズに則した商品改良を行い、海外展開に取り組む県内企業を支援する。

令和5年度採択件数：23件（採択額 108,014千円）

令和5年度助成件数：37件（助成額 36,508千円）

3. 創造的企業指導育成支援事業

(1) スタートアップ創出基盤構築事業

新たな価値を創造し、急成長する企業を創出するため、従来のコンテストの開催に加え、ビジネスで社会課題の解決を目指す若者への資金支援、大学発スタートアップの促進のため研究シーズの発掘、事業化支援を行った。また、専門人材による伴走支援や成長戦略ファンドの財源による成長段階に応じた資金支援を行った。

- スタートアップビジネスプランコンテストの開催
 - 新規認定企業数 3 社
 - 助成企業数 7 社（助成額 9, 283 千円）
- 社会課題解決型ビジネス創業支援
 - 新規認定企業数 1 社
 - 助成企業数 2 社（助成額 4, 304 千円）
- 大学発スタートアップ支援
 - ファイナリスト発表企業数 9 件
- スタートアップアクセラレータプログラムの実施
 - 伴走支援企業数 3 社
- スタートアップ創出支援補助金【再掲】

また、県内支援機関と協力して、起業家、学生、企業、支援機関等が気軽に集える「いしかわスタートアップステーション」を開催し、オープンイノベーション等をテーマとしたセミナーを開催した。

(2) 社会課題解決支援事業

家事代行サービスなどサービス業を念頭においた、社会課題解決に向けたさまざまな新サービスなどの開発を支援した。

令和5年度採択件数： 6 件（助成額 16, 500 千円）
令和5年度助成件数： 6 件（助成額 4, 638 千円）

(3) 移住・起業支援金助成事業

東京から本県に移住し、I S I C Oの支援を受けて起業する者に対して、店舗の設備費等の起業費用の一部を助成し、支援した。

令和5年度採択件数 4 件（助成額 2, 278 千円）

4. 知的財産保護・活用支援事業

(1) 知的財産活用支援事業

地域の中小企業の知的財産に関する悩みや課題解決を支援するため、「知的総合相談窓口」を設置し、ワンストップの相談業務を行ったほか、知的財産への意識が希薄な中小企業に対して、知的財産活用の重要性を促すための普及啓発を行った。

相談件数	1, 6 6 2 件
周知件数	5 6 件

(2) 外国出願支援事業

県内中小企業の外国出願を促進し、海外展開を図るため、外国への特許・商標出願を支援した。

特許部門	採択件数	:	4 件
商標部門	採択件数	:	1 件

Ⅱ. 新市場の開拓推進

1. 受注開拓推進事業

(1) 取引情報収集提供事業

県内中小企業の受注機会の拡大を図るため、職員やアドバイザーによる巡回調査や県外発注企業への訪問を積極的に実施するとともに、インターネットや情報誌、企業名簿の配布等を通じ、広く受発注情報・製品情報等の収集提供を行い、取引あっせんを推進した。

発注開拓企業件数	556件
あっせん紹介件数	136件
あっせん成立件数	29件
あっせん成立金額	231,049千円
年間取引見込額	274,345千円

(2) 受注開拓支援事業

県内中小企業が保有する自社開発製品や独自技術を広くPRするため、広域的な展示会・商談会を開催した。

- ビジネス創造フェアいしかわ
 - 会 期：令和5年5月18日～20日（3日間）
 - 会 場：石川県産業展示館 2号館
 - 出展者：58社・組合 12機関
- ビジネス創造フェアいしかわ展示商談会及び工場視察会
 - 参加発注企業：52社
 - 参加県内企業：50社
 - 工 場 視 察：50社が延131社を視察
- 成長分野販路開拓商談会及び工場視察会
 - <環境・エネルギー分野>
 - 参加発注企業：16社
 - 参加県内企業：45社
 - 工 場 視 察：13社が延37社を視察
 - <次世代産業生産設備分野>
 - 参加発注企業：12社
 - 参加県内企業：63社
 - 工 場 視 察：10社が延26社を視察
- 第28回機械要素技術展 石川県ブース
 - 会 期：令和5年6月21日～23日（3日間）
 - 会 場：東京ビッグサイト
 - 出展者：10社
- 招聘型商談会
 - 開 催 回 数：9回
 - 招 聘 企 業：9企業
 - 視 察 企 業：県内企業17社と商談

2. 販路開拓推進事業

(1) 首都圏等新製品販路開拓支援事業

県内中小企業等が開発した新製品等の販路開拓を促進するため、販路開拓アドバイザーを配置した。

販路開拓企業件数	330件
あっせん紹介件数	587件
あっせん成立件数	294件
あっせん成立金額	235,572千円

(2) 展示会・商談会等開催事業

県内中小企業が、いしかわ産業化資源活用推進ファンド等の支援策を活用し開発した新製品等を広くPRするため、県内外で展示商談会等を開催し、販路開拓を支援した。

○第96回 東京インターナショナル・ギフト・ショー秋への出展

会 期：令和5年9月6日～8日（3日間）

会 場：東京国際展示場（東京ビッグサイト）西展示棟

出展者：28社

○地元素材にこだわった商品マッチング商談会

会 期：令和6年3月7日（木）

会 場：ホテル金沢

出 展 者：24社

商談企業：県内都市型ホテル 12社

○招聘型商談会

開 催 回 数：16回

招 聘 企 業：16企業

商 談 企 業：県内企業延べ88社と商談

(3) アンテナショップ活用促進事業

首都圏に販路開拓を希望する中小企業者を対象に、東京銀座にあった石川県のアンテナショップにて試食販売を行い、消費者の意見を提供し、商品改良や販路開拓を支援した。

実施企業数：10社

(4) 伝統産業市場変化対応支援事業

新型コロナの影響で人々の生活環境や行動様式に変化が生じ、伝統産業を取り巻く環境も大きく変化している中、セミナーを通じた最新の市場動向の提供や販路開拓・商品改良等を支援した。

キックオフ・ワークセミナー	4回（参加：38者）
専門家による伴走型支援	2コース（参加：24者）
展示会出展による成果発表	1回
成果報告会	1回

Ⅲ. 経営基盤の強化促進

1. 情報提供事業

中小・ベンチャー企業の経営に役立つ文献や図書、研修用DVDソフトなどを整備し、情報ライブラリの充実と利用促進を図るとともに、情報データベースの提供、情報誌の発行、各種広報印刷物による情報の発信・提供に努め、ISICO事業の活動内容と成果の普及を図った。

(1) 情報ライブラリの運営

利用件数 785件

(2) 情報誌の発行

○情報誌「ISICO」の発行

主な内容：県内中小・ベンチャー企業活動情報、産学官連携活動情報等

発行部数：6,000部（年6回発行）

(3) 産業創出デジタルネットワーク運営事業

産業情報のポータルサイトとして、中小・ベンチャー企業を応援するホームページ「DGnet・デジネット」を運営し、各種ビジネス情報の収集・提供、経営や技術に関する支援サービス等の提供を行うことにより、中小・ベンチャー企業の創造的事業活動を効率的に支援した。

アクセス件数 2,123,677件

DGネット情報登録数 10,886件

メール配信登録者数 8,003人

2. 経営力強化支援事業

中小企業・小規模事業者等が抱える創業から経営革新、経営改善、事業承継などあらゆる経営課題の相談に迅速に対応するため、専門知識を有するアドバイザーを配置し、中小企業等の経営力強化を総合的・集中的に支援した。

窓口相談・訪問件数 10,924件

(1) 専門家派遣事業

コロナ禍における企業の多様なニーズに対応するため、財務状況等の分析・診断から、回復・成長に向けた新たな取組（新分野展開、販路開拓）など、企業活動を一貫してきめ細かく支援した。また、高度化・複雑化している中小企業の経営課題に対応するため、高度な知見を有する「高度アドバイザー」を活用し、県内企業の更なる成長の促進を図った。

○専門家派遣件数 1,233件（324社）

うち、経営力強化総合支援アドバイザー派遣 1,148件（296社）

○成長促進高度アドバイザー活用支援 8件（助成額 8,775千円）

(2) よろず支援拠点事業

中小企業診断士、弁護士、税理士等の専門家を配置し、中小企業・小規模事業者が抱える様々な経営課題にワンストップで相談対応を行った。

相談実績件数 4,700件

(3) 中小企業活性化支援事業

産業競争力強化法に基づく認定支援機関として、中部経済産業局から「中小企業再生支援協議会事業」の委託を受け、経営上の問題を抱えながらも、意欲をもって事業の再生に取り組もうとする県内中小企業の再生を支援した。

新規相談社数	102社
支援完了件数	51件

(4) 経営改善支援センター事業

借入金の返済負担等、財務上の問題を抱えている中小企業・小規模事業者を対象に経営改善計画策定支援を行った。

経営改善計画策定支援受理件数	30件
早期経営改善計画策定支援受理件数	1件

(5) 事業承継・引継ぎ支援センター事業

中小企業・小規模事業者の事業承継・事業引継ぎに関する課題解決に向けた適切な助言、情報提供、マッチング支援を行った。

新規相談対応（譲渡・譲受）件数	233件
〃（親族内）	132件
成約（譲渡・譲受）件数	26件
〃（親族内）	17件

(6) 中小企業事業承継円滑化事業

円滑な事業承継のため、マッチング・事業承継の前段階の支援として、事業承継の意識啓発や後継者の育成に関するセミナーを開催するとともに、事業承継に係る費用を助成した。

後継者育成塾	8回	承継セミナー	3回
助成件数	15件（助成額	2,788千円）	

3. 設備導入支援事業

(1) 収益力強化促進支援事業

電力料金高騰、賃上げ等によって厳しい経営状況の事業者の収益力の強化する取り組みに対し助成した。

助成件数	51件（助成額	39,819千円）
------	---------	-----------

(2) DX（デジタル化）設備導入支援事業

デジタル技術を活用し、新たなビジネスモデルを創出していく「DX」や、デジタル化による業務の効率化を図るため、デジタル化設備の導入に対し助成した。

助成件数	54件（助成額	207,781千円）
------	---------	------------

(3) GX（省エネ・再エネ）設備導入支援事業

電気代等の値上げに対応することで、企業の競争力強化を図るため、GX（省エネ・再エネ等）に必要となる設備の導入等に対し助成した。

助成件数	96件（助成額	339,876千円）
------	---------	------------

(4) 賃上げに向けた経営体制強化支援事業

物価高騰、最低賃金上げが行われる中、さらなる賃金の引上げを行うとともに、販路開拓や商品開発等経営体制強化の取り組みに対し助成した。

助成件数 12件 (助成額 21,773千円)

(5) 省エネ設備緊急支援事業 (R4繰越事業)

原油価格等世界的にエネルギー価格が高騰する中、生産コスト削減による県内企業の競争力強化のため、省エネ設備の導入に対し助成した。

助成件数 5件 (助成額 17,730千円)

(6) 設備貸与事業

県内中小企業の経営基盤強化に必要な設備の導入を促進するため、設備貸与割賦事業を実施した。

貸与件数	7件
設備金額	187,290千円
貸与金額	187,290千円

4. 産業人材確保・育成支援事業

(1) 産業人材確保定着支援事業

県内中小企業からの人材相談に対応するため専門のアドバイザーを配置し、県内企業経営者、人事担当者等を対象とし、人材マネジメント・組織開発全般に関するセミナーを開催するとともに、人材の採用・育成・定着等について支援した。

相談指導件数	108件
企業向け人材セミナー	27回 受講者数：599人

(2) 産業大学講座等セミナー開催事業

経営全般、人材確保、IT活用等に関する各種セミナーや、県工業試験場と連携した技術セミナーを開催し、中小・ベンチャー企業の意識啓発と人材育成を支援した。

セミナー開催件数	204回	受講者数：3,093人
うち 経営支援セミナー	75回	受講者数：713人
人材セミナー	29回	受講者数：601人
IT活用セミナー	56回	受講者数：685人
技術セミナー	44回	受講者数：1,094人

5. 地域商業活性化推進事業

地域商業の活性化を図るため、商店街が行う集客イベントや商店街の有志グループ等が行うビジネスプランの事業化等を支援した。

助成件数 7件 (助成額 5,906千円)

IV. 産業振興施設の管理運営

1. 会議室・研修室等の提供事業

(1) 地場産業振興センター管理運営事業

<貸館事業>

主要経済団体等の拠点集積による相乗効果を目的とした施設運営及び産学官の交流や人材養成のための研修・会議等の場を提供した。

区 分	大ホール	コンベンション ホール	会議室	研修室	合計
室 数	1	1	8	10	20
件 数	236	284	1,907	3,258	5,685
金 額(千円)	22,284	13,869	21,905	58,639	116,697
稼働率	67.6%	81.4%	65.2%	93.4%	81.4%

延べ利用人数 291,375人(視察・展示会等含む)

<企画展示事業>

県内企業等が開発した新商品や地場産品等を石川県地場産業振興センター内の展示施設じばさんギャラリー等の企画展示会を通じて紹介し、当該商品、サービスの需要開拓を支援した。

① 本館(じばさんギャラリー)

- ・第37回全国手づくりガラス展(令和5年4月12日～5月17日)
- ・第38回全国やきものの里展(令和5年9月15日～10月31日)
- など、9回の展示会を開催

② 新館(展示室)

- ・「いしかわの繊維の和テイストを紡ぐ展」繊維リソースいしかわ(令和5年5月16日～6月6日)
- ・「いしかわエコデザイン賞2023受賞製品・サービス展」県里山対策室(令和5年11月10日～12月10日)など、9回の展示を実施

(2) いしかわハイテク交流センター管理運営事業

サイエンスパークの交流拠点である「石川ハイテク交流センター」の管理運営を行い、施設の利用促進を図るとともに、サイエンスパークの総合窓口として、大学、企業、支援機関等の産学官連携を推進した。

区 分	宿泊施設	会議室等	合 計
利 用 件 数	1,096件	673件	1,769件
利 用 人 数	1,299人	9,093人	10,392人
利 用 金 額	5,572千円	8,443千円	14,015千円

2. 創造拠点施設の提供事業

(1) サイエンスパーク新産業創造拠点化事業

サイエンスパークの新産業創造拠点化を推進するため、窓口機能の強化を図り、インターネットによる情報の発信、パーク内交流会の開催や産学・産業間連携に向けたコーディネート活動等を積極的に展開するとともに、進出企業等がより高度な研究開発に取り組むため、情報ネットワークのインフラ管理と利用促進を図り、ベンチャー企業や研究開発型企業の立地・集積を促進した。

○インターネットによる情報発信	
HPアクセス件数	42,242件
○JAIST施設見学会の実施	1回
○起業家チャレンジショップ	7回

(2) いしかわクリエイトラボ運営事業

創業間もないベンチャー企業や新分野進出・新技術の開発等を行う中小企業のインキュベーター施設「クリエイトラボ」の管理運営を行うとともに、入居企業の各種相談の対応や専門家等の斡旋・紹介、入居企業の交流会等を開催することにより、創造的な研究開発活動を促進し、入居企業の自立成長を支援した。

入居企業数 42社

(3) いしかわフロンティアラボ整備・運営事業

サイエンスパークに、ベンチャー企業や研究開発型企業の集積を図り、新産業創造の拠点形成を推進するため、企業の初期投資軽減を目的とした施設「フロンティアラボ」を運営した。

入居企業数 9社 17棟

第3. 庶 務 事 項

年 月 日	事 項
R5. 4. 1	評 議 員 会 （同意書） ・ 監事の選任について 【中村 一弥】
R5. 6. 7	理 事 会 ・ 令和4年度事業報告について ・ 令和4年度決算報告について ・ 定時評議員会の開催について
R5. 6. 29	定 時 評 議 員 会 ・ 評議員会会長の選任について ・ 令和4年度決算報告について ・ 報告【令和4年度事業報告】
R5. 7. 1	評 議 員 会 （同意書） ・ 理事の選任について 【光永 祐子】
R5. 7. 1	理 事 会 （同意書） ・ 代表理事副理事長の選定について 【光永 祐子】
R5. 9. 29	理 事 会 （同意書） ・ 令和5年度事業計画の一部変更（追加）について ・ 令和5年度収支補正予算について
R6. 3. 27	理 事 会 ・ 令和5年度収支補正予算について ・ 令和6年度事業計画及び収支予算について ・ 令和6年度事業資金の借入について

【事業報告書の附属明細書】

事業報告の内容を補足する重要な事項はないため、附属明細書は作成しない。